

2010年度 事業報告及び決算について

2010 年度 事業報告書

(2010 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日まで)

学校法人 中内学園

一	学校法人の概要
---	---------

①建学理念及び教育の特色

【建学理念】

流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

【教育の特色】

「流通・マーケティング」を研究、学ぶということが全学的に共通した教育の大前提であり、学部・学科・コースとも、それぞれの教育特性を活かした切り口で「流通・マーケティング」を学び、さらに常に動態化している第三次産業の市場や生活者の変化に適応でき、使える学問としての「実学」で学ぶことが本学の教育の特色である。

【将来に向けてのビジョン】

本学が継続的発展を遂げるため、2010年に策定された将来計画「RYUKA プラン 21」に則り、事業を推進する。具体的には「RYUKA プラン 21」において、次の5つの機能についてそれぞれ目標を設定し、PDCA サイクルを回し続けることとする。

<募集力>

- ・アドミッションポリシーに基づいた、質も重視した上での安定的な入学者数の確保

<教育力>

- ・知恵→知識に変換する力を身につけた人材の育成
- ・ルール、マナーを身につけ、コミュニケーションができる人材の育成

<研究力>

- ・学生の成長につながる研究力の向上
- ・RYUKA ブランドの構築

<就職力>

- ・全国トップクラスの就職率を維持しながら、即戦力と評価される人材を輩出し、また就職に対する満足度を向上させる

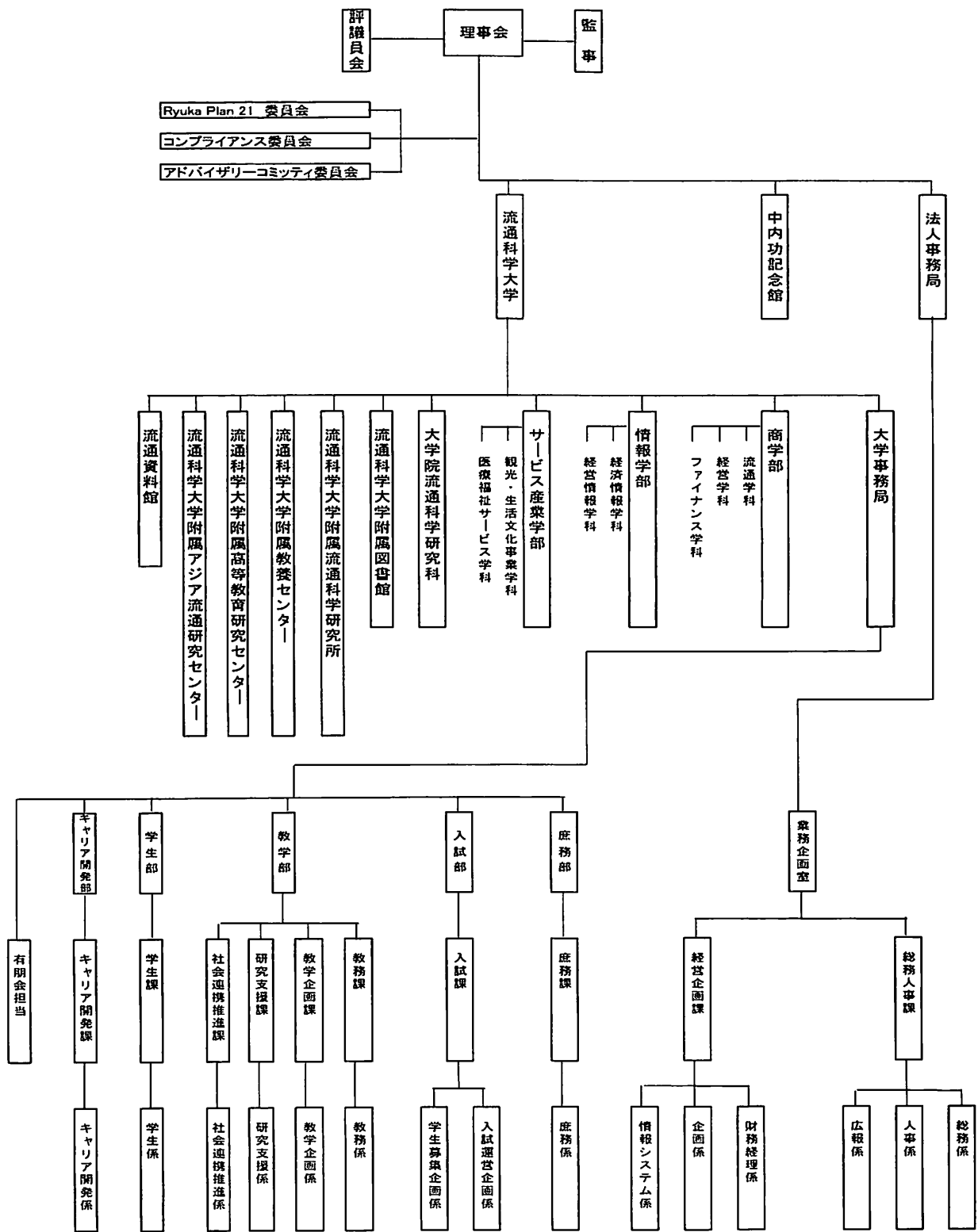
<経営力>

- ・「募集力」「教育力」「研究力」「就職力」を支えるための財政基盤の安定化、組織の活性化

②沿革

1979(昭和 54)年	5 月	中内功、流通関係の大学設立構想発表
1984(昭和 59)年	3 月	流通科学大学(仮称)設立事業計画策定
1985(昭和 60)年	6 月	流通科学大学設立準備財団設立発起人総会 中内功を設立代表者に選任
1986(昭和 61)年	1 月	「財団法人 流通科学大学設立準備財団」認可・登記
1987(昭和 62)年	12 月	学校法人中内学園 寄附行為認可及び流通科学大学認可
1988(昭和 63)年	1 月	学校法人中内学園設立登記
1988(昭和 63)年	4 月	流通科学大学 商学部(流通学科/経営学科)開設
1991(平成 3)年	12 月	寄附行為変更認可及び情報学部設置認可
1992(平成 4)年	4 月	情報学部(経済情報学科/経営情報学科)開設
1993(平成 5)年	12 月	寄付行為変更認可及び商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設認可
1994(平成 6)年	4 月	商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設
1995(平成 7)年	12 月	寄附行為変更認可及び大学院(流通科学研究科)設置認可
1996(平成 8)年	4 月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1997(平成 9)年	9 月	中内記念館(現中内功記念館、10 周年記念事業)竣工
1997(平成 9)年	12 月	大学院(流通科学研究科 博士課程)設置認可
1998(平成 10)年	4 月	大学院(流通科学研究科 博士課程)開設
1998(平成 10)年	8 月	藤原台セミナーハウス竣工
2001(平成 13)年	4 月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科/医療福祉サービス学科)開設
2005(平成 17)年	3 月	商学部サービス産業学科廃止
2006(平成 18)年	4 月	アスレチック棟(20 周年記念事業)竣工
2006(平成 18)年	9 月	中内功記念館開設
2006(平成 18)年	9 月	流通資料館開設
2007(平成 19)年	7 月	講義棟 6(20 周年記念事業)竣工
2008(平成 20)年	8 月	第二クラブハウス竣工
2009(平成 21)年	10 月	流通科学大学野球場竣工

⑤学校法人の組織図(2010.4)



⑥法人が関係する会社

1. 会社名 流科サービス株式会社
2. 事業内容 学内のコンビニエンスストア経営、自動販売機の管理等
3. 資本金 50,000千円 (中内学園100%出資)
4. 従業員数等 取締役3名、監査役1名、従業員1名
5. 営業状況 営業収益 11,092千円 経常利益 2,938千円

なお、コンビニエンスストアは売上高ではなく、FC契約に基づくオーナー収入を営業収益として算出

二	事業の概要
---	-------

(1)2010 年度事業報告

「募集力」

(1) 入試制度

- ・ 当年度の結果 志願者数 2,912 名（前年度 3,313 名）
 入学者数 897 名（前年度 953 名）

(2) 学生募集

- ・ スポーツクラブ活性化委員会と連動し、強化クラブ・育成クラブを中心に高校訪問を実施した。
- ・ 県外比率アップの対策として、在学生の母校訪問を展開。14 名の申請があり、実施した（前年度 7 名、前年度比 200%）。
- ・ 高大連携化の促進として、商業科担当の先生方との情報交換会（2010 年 3 月実施）をベースに、新規作成した「簿記・会計プログラム」を対象高校・生徒に訴求した。
- ・ オープンキャンパス来場者数トータル 1,920 名（前年度 1,887 名、前年度比 102%）。

(3) 一般広報活動

- ・ 新聞雑誌掲載記事件数 463 件（前年度 436 件、前年度比 106.2%）
- ・ 新設の総合政策学部を PR するため、読売新聞紙上対談掲出（総合政策学部長×鳥越俊太郎氏）（9 月）。
- ・ 大学の新ロゴを導入（4 月）。
- ・ 次年度夏季に展開するテレビ CM の制作を実施（3 月）。

「教育力」

(1) 学部改組の円滑なスタートに向けた取り組み

- ・ 文部科学省届出「教育課程等の概要」「授業科目の概要」「教員の氏名等」「設置の趣旨等を記載した書類」（4 月末）。
- ・ 新カリキュラム教養教育等の変更点の最終確認（12 月）。
- ・ 研究教育上の目的とカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを策定し、ホームページ等で公表（12 月）。
- ・ 学部規則、履修規程等の改正（2 月）。

(2) 新カリキュラム導入に向けた取り組み

- ・ 参画型・対話型授業として、新カリキュラムにおける教養科目において、問題発見・課題解決型科目「読書力」「生涯学習力」等 10 科目の開講を決定した。

(3) 学生成長のための個別施策

- ・ TERAKOYA1（税理士・国税専門官などの国家資格取得を目指す）から国税専門官と国家 2 種の合格者を輩出した。
- ・ 株式会社ドンクに協力をいただき「夕食にパンを食べよう！」をテーマに学園都市ゼミ対抗イベントを開催した。参加チーム数は本学 31 チーム、神戸芸術工科大学 9 チームの合計 40 チーム。

(4) FD への継続した取り組み

- ・学生による授業改善アンケートの改善に向け、授業形態の多様化 (E-ラーニング等)、次年度の新学部設立に対応したアンケート項目の練り直し、学生へのフィードバックについて、検討を継続実施した。

(5) 大学基準協会への中間報告対応

- ・次年度 7 月に大学基準協会へ提出する中間報告について、各学部、研究科、各部署からのデータ取りまとめ等の準備を完了した。

(6) 課外活動の推進による大学の活性化

- ・公認クラブ加入率 37% (前年度 35.3%)。
- ・クラブ・サークル加入率 58% (前年度 62.2%)。

(7) ルール・マナー遵守

- ・入学式において、兵庫県警による講演を実施した。テーマ「防犯講座 犯罪被害に遭わない 犯罪者にならない」。
- ・図書館前喫煙場所を閉鎖するとともに、研究棟 I・II・V に植栽を設置することにより、はみ出し喫煙の防止対策を実施した。

(8) 退学・除籍対策

- ・退学除籍者数 177 名 (前年度 155 名、目標 140 名)。
- ・下宿生対象の入学後説明会を実施した (4 月 17 日実施、参加者数 58 名)。

(9) 地域交流・ボランティア促進

- ・地域イベント参加件数 41 件 (前年度 15 件、目標 20 件)。
女子プロ野球教室、情報フォーラム部パソコン講座、和太鼓部演舞、吹奏楽団演奏、地域交流サッカー大会、学園子供フェスタ、障害者福祉施設イベント、健康づくり自主活動グループ研修会等。

(10) 心と体の健康

- ・学生対応に関する勉強会を実施した (6 月 18 日、10 月 7 日、2 月 21 日実施、参加者数合計 (教職員合わせて) 33 名)。テーマ「精神的な不安をもつ学生の対応について」。

(11) 有朋会との協働

- ・6 グループ (中内ゼミ、西尾ゼミ、向山ゼミ、佐藤ゼミ、男子ラクロス部、女子ラクロス部) の同窓会活動支援を実施した。

(12) 学生の交流活動

- ・留学生と一般学生との交流プログラム参加者数 561 名 (前年度 565 名、前年度比 99.3%、目標 600 名)
- ・留学生を中心とした中国での就職支援として、上海 FESCO との協定を締結した。

※上海 FESCO…1984 年に設立され、外資系企業の中国ビジネスをサポートしている中国国営総合人材会社

(13) 資格講座の開講

- ・受講者数 675 名 (前年度 634 名、前年度比 106.5%、目標 662 名、目標達成率 102%)。
- ・収益 5,522,000 円 (前年度 3,640,000 円、前年度比 151.7%、目標 3,540,000 円、目標達成率 156%)。

(14) 図書館の活性化

- ・来館者数 67,852 名（前年度 67,047 名、前年度比 101.2%、目標 67,500 名）

(15) 中内功記念館の活性化

- ・5月28日にリニューアルオープンし、参加者数は50名。また、新聞紙4社、テレビ1社の取材があった。
- ・6月より、一般公開と授業（基礎演習）での見学対応を実施した。

(16) 教育後援会の活性化

- ・新規企画として、宿泊バスツアー（ひょうごウォッチング）を2回実施した（第1回 6月18日～19日、28名参加。第2回 10月1日～2日、26名参加）。

「研究力」

(1) 流通科学研究所の活性化

- ・観光人材育成プログラムを立ち上げ、文部科学省の補助金事業に採択された。
- ・第四回流通シンポジウムを9月19日に開催し、株式会社ライフコーポレーションの岩崎社長、加藤産業株式会社の加藤社長に講演をいただいた。参加申込者数580名、当日参加者数450名。
- ・流通科学研究所として、震災と流通研究会を年間5回、観光ビジネスモデル研究会を年間11回、まちづくり流通研究会を年間8回開催した。

(2) 研究支援

- ・科学研究費補助金額 17 件 27,078,000 円（前年度 24,900,000 円、前年度比 108.7%、目標 27,390,000 円）。
- ・受託研究費 8 件 4,920,000 円（前年度 8,163,980 円、前年度比 60.3%、目標 8,980,378 円）

(3) 海外との学術交流活動

- ・SARD 第8回ワークショップの展開（11月26日～28日に実施し、11カ国から50名（前年度39名）の研究者が参加し、20本（前年度14本）の論文が提出・発表された）。
- ・提携大学との学術交流の実施。

6月に蘇州大学応用技術学院との協定を締結し、合計17大学と提携。

台湾	高雄第一科技大学、南台科技大学、中国科技大学
韓国	東亜大学校、中央大学校、東明大学校
中国	南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学、 <u>蘇州大学応用技術学院</u>
ベトナム	貿易大学
タイ	カセサート大学
オーストラリア	サンシャインコースト大学
ニュージーランド	ワイカト大学パスウェイズカレッジ
アメリカ	ポートランド州立大学
フィンランド	バーサ大学

※太字は2010年度新規提携校

(4) 海外とのビジネス交流活動

- ・海外研修団の誘致について、アプローチしたが、円高による影響もあり、実施できなかった。

(5) FD への継続した取り組み

- ・オープンクラスウィーク制度の評価として、前後期とも、結果集計・分析を行い、教職員向けに冊子を作成した。

(6) 流通資料館の深化

- ・流通に関わる企業・団体からの社史・団体史等の資料収集を行い、35 社・50 冊の資料を所蔵。
- ・所蔵資料のデータベース化に向け、新聞スクラップ、チラシ広告等のデータベース原資料納品（10 月）。

「就職力」

(1) 4 年生対象 就職支援

- ・就職率 73.1%（前年度 75.2%、目標 80%）、就職内定率 91.3%（前年度 94.3%）。
- ・6 月までの内定者 301 名（前年度 291 名、前年度比 103.4%）。
- ・9 月末までに 412 名の模擬面接練習を実施した（前年度 300 名、目標 400 名）。
- ・企業推薦制度の拡大に向け、推薦を実施した企業数 47 社（前年度 18 社、目標 36 社）。うち内定者数 59 名。
- ・夏休み以降に 32 社（前年度 20 社）の学内企業セミナーを実施し、意欲がダウンした学生のフォローを強化。

(2) 3 年生対象 就職支援

- ・就職ガイダンスを 6 回実施し、参加率は 58.4%となった（前年度 54.3%、目標 70%）。
- ・SPI 対策として、模試受験の実人数 736 名、受験率 78.5%（前年度 60%、目標 70%）。

(3) キャリア教育の見直し

- ・インターンシップ派遣学生数 337 名（前年度 311 名、目標 330 名）、派遣企業数 131 社（前年度 142 社、目標 145 社）。
- ・次年度に向け、フィールドワークを取り入れた業界研究科目を、受講者数を増加させて開講し、受講者数 100 名（製造業 22 名、流通業 20 名、金融業 20 名、IT 業 14 名、サービス業 24 名）となった。

(4) その他

- ・6 月、9 月に 4 年生未内定者の父母向けに求人、支援行事、ご意見を反映させる案内を送付した。
- ・8 月に 3 年生の父母向けに SPI 対策講座受講の案内、支援行事の案内を送付した。
- ・留学生就職ガイダンスを年 4 回実施した（前年度までは年 1 回）。
- ・第二新卒の就職支援として、当年度、未内定のまま卒業した 178 名の卒業生に就職サポートの案内等を実施した。
- ・有朋会と連携し、OB・OG リレー講座、スキルアップセミナーについて、OB・OG に参加を要請し、22 名が参加した。

「経営力」

（１）財務構造の磐石化

- ・人件費比率 49.2%（目標 50%）、教育研究経費比率 31.9%（30%）、管理経費比率 10.9%（10%）、3 大経費トータルで予算内運用。
- ・11 月の理事会、評議員会にて第 2 号基本金 400,000,000 円、第 3 号基本金 5,398,000 円の組入れ承認。
- ・科学研究費補助金での購入備品現物実査を監査法人とともに実施した。
- ・国債中心の資金運用と着実な資金繰り計画に基づく預金を実施した。

当年度実績：国債 1,000,000,000 円、仕組み預金 1,350,000,000 円

（２）学園組織

- ・学部改組に向けた教員配置について、4 月末に、文部科学省へ届出完了。
- ・流通科学研究所の目的を流通問題一般について科学的に研究することとし、法人から大学へ移管した。
- ・「学生の成長」に視点を置き、従来あった 5 つのセンターについて、教養センター・高等教育研究センター・アジア流通研究センターの 3 つに再編した。

（３）オープンカレッジの開講

- ・受講者数 966 名（前年度 856 名、前年度比 112.9%、目標 880 名、目標達成率 109.8%）。
- ・収益 2,777,000 円（前年度 2,354,000 円、前年度比 118%、目標 2,500,000 円、目標達成率 111.1%）。

（４）個別施策

- ・4 月 1 日、全学教員会において、全教職員に対し、RYUKA プラン 21 第一次答申についての説明を実施した。
- ・11 月の理事会、評議員会にて RYUKA プラン 21 第二次答申承認。

(2)教育研究の概要

①教育研究上の基本となる組織に関する情報(2010.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	コース
商学部	流通学科	流通・マーケティングコース
		アジア流通コース
	経営学科	経営戦略コース
		財務・会計コース
	ファイナンス学科	金融コース
情報学部	経済情報学科	都市情報コース
		情報システムコース
	経営情報学科	経営情報コース
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	観光事業コース
		生活文化事業コース
		スポーツ健康コース
	医療福祉サービス学科	サービス心理コース
		社会福祉コース

流通科学大学大学院

研究科	課程
流通科学研究科	流通科学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

②教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報(2010.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数	うち 博士学位 取得者数	うち 修士学位 取得者数	うち 産業界 出身者数
商学部	流通学科	20	10	6	4	15	4	6
	経営学科	19	12	6	1	8	9	8
	ファイナンス学科	9	6	3	0	3	6	3
情報学部	経済情報学科	15	10	5	0	13	1	3
	経営情報学科	16	9	4	3	7	7	6
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	17	13	4	0	4	8	15
	医療福祉サービス学科	15	10	4	1	3	9	9

※医療福祉サービス学科に助手1名

流通科学大学大学院

研究科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数
流通科学研究科	24	21	3	0

※流通科学研究科教員については、大学と兼任

③学生に関する情報

<入学に関する基本的な方針>

- ・高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。
- ・高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

<2010年度 入学生数>

流通科学大学

学部	学科	募集定員	入学者数
商学部		400名	413名
情報学部		250名	250名
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	150名	180名
	医療福祉サービス学科	100名	110名
学部計		900名	953名

流通科学大学大学院

研究科	課程	募集定員	入学者数
流通科学研究科	修士課程	20名	16名
	博士後期課程	5名	1名
大学院計		25名	17名

総合計	925名	970名
-----	------	------

<学部・学科及び収容定員・学生数の状況(2010.5.1現在)>

流通科学大学

学部	学科	収容定員	学生数
商学部		1,600名	1,920名
情報学部		1,000名	1,093名
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	600名	650名
	医療福祉サービス学科	400名	381名
学部計		3,600名	4,044名

流通科学大学大学院

研究科	課程	収容定員	学生数
流通科学研究科	修士課程	40名	31名
	博士後期課程	15名	3名
大学院計		55名	34名

< 学生数－内訳 (2010.5.1現在) >

流通科学大学

学部	学科	1学年	2学年	3学年	4学年	全学年合計		
						男	女	計
商学部	流通学科			191	212			
	経営学科			175	193			
	ファイナンス学科			113	133			
	計	448	455	479	538	1,521	399	1,920
情報学部	経済情報学科			119	146			
	経営情報学科			145	165			
	計	265	253	264	311	979	114	1,093
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	185	175	132	158	352	298	650
	医療福祉サービス学科	115	106	81	79	261	120	381
	計	300	281	213	237	613	418	1,031
学部計		1,013	989	956	1,086	3,113	931	4,044

流通科学大学大学院

研究科	課程	1学年	2学年	3学年		全学年合計		
						男	女	計
流通科学研究科	修士課程	16	15			16	15	31
	博士後期課程	1	1	1		1	2	3
大学院計		17	16	1		17	17	34

総合計	1,030	1,005	957	1,086	3,130	948	4,078
-----	-------	-------	-----	-------	-------	-----	-------

<卒業生数・就職者数・進学者数>

流通科学大学

学部	学科	2010年度 卒業生数	卒業生数 累計	2010年度 就職者数	2010年度 進学者数
商学部	流通学科	174(5)	4,495	141	3
	経営学科	139(7)	3,840	98	1
	ファイナンス学科	106(5)	1,377	73	6
	サービス産業学科		815		
	計	419(17)	10,527	312	10
情報学部	経済情報学科	109(11)	2,369	46	6
	経営情報学科	114(8)	2,473	70	4
	計	223(19)	4,842	116	10
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	139(2)	819	103	4
	医療福祉サービス学科	65(6)	881	46	1
	計	204(8)	1,700	149	5
学部計		846(44)	17,069	577	25

※()内の数字は、2010年度9月卒業者数

流通科学大学大学院

学位	修士課程				博士課程			
	2010年度 卒業生数	卒業生数 累計	2010年度 就職者数	2010年度 進学者数	2010年度 卒業生数	卒業生数 累計	2010年度 就職者数	2010年度 進学者数
流通科学	11	187	5	1	0	10	0	0

< 卒業後の進路(主な就職分野)[具体的な就職先等]>

2010年度 主な内定先

(業種別 五十音順)

主な就職先	かんてんエンジニアリング 協和テクノロジーズ きんでん 住友不動産販売 大東建託 タマホーム 福屋工務店	卸 売	コイズミ照明 コスギ ゴトウ・アズ・プランニング 山陽インダ 新生紙パルプ商事 スズケン スミノエ 全農パールライス西日本 ダイワボウ情報システム たけでん トーホー ドッドウエルビー・エム・エス トヨタ部品兵庫共販 ナブコドア 日本アクセス ハークスレイ ビッキー ファブリカ 藤原産業 ブランドル 丸玉給食 むつみ 森岡化成 山星屋 ロートレ・アモン	金 融	伊予銀行 SMBCフレンド証券 愛媛銀行 岡三証券 近畿産業信用組合 高知信用金庫 四国銀行 第一生命保険 但馬銀行 但馬信用金庫 たじま農業協同組合 但馬信用金庫 中国銀行 日新信用金庫 播州信用金庫 姫路信用金庫 兵庫県信用農業協同組合連合会 兵庫西農業協同組合 兵庫みらい農業協同組合 兵庫六甲農業協同組合 三井住友銀行
	伊藤園 エーシーエヌ エフビコ 加美乃素本舗 川重冷熱工業 キング醸造 金門製作所 栗田工業 クロスカンパニー ケーニヒスクローネ ケーロス 国民製菓 佐藤印刷所 沢の鶴 サンヨー食品 ジーシー シスメックス シュガー・マトリックス 神鋼エンジニアリング&メンテナンス 泉工医科工業 タイヨーエレック 多木化学 トゥモローランド 東和薬品 日新薬品工業 ネスレ日本 ハイレックスコーポレーション 久光製薬 フクシン金属工業 フジッコ ブライミクス ブリヂストンスポーツ ペイクルーズ まねき食品 ロンタイ		アークランドサカモト アイケイコーポレーション 一富士フーズサービス エービーシー・マート NECモバイリング カインズ 関西スーパーマーケット G-7ホールディングス キリン堂 銀ビルストア クリエイトエス・ディー ゲオ 神戸マツダ 光洋 コーナン商事 ゴダイ コメリ 山陽マルナカ ジャクエツ 上新電機 スギ薬局 第一電子 大黒天物産 チュチュアンナ デミック ドン・キホーテ ナガタ薬品 ナック 日本トイザらス ネクスト・ワン ネットヨクウエスト兵庫 ハートフレンズ はるやま商事 ハローズ ビジョンメガネ 兵庫三菱自動車販売 ホンダカーズ兵庫 マックスバリュ西日本 マナバインテリアハーツ マルアイ マルナカ マルハチ 万代 三越伊勢丹ホールディングス メガネトップ ヨドバシカメラ ライフオート ライフコーポレーション レッドバロン レリアン ロック・フィールド		あきんどシロウ 王将フードサービス カッパ・クリエイト 神戸リゾートピアホテル サイゼリヤ スーパーホテル 中納言 西村屋 松屋フーズ モンテローザ ユーシーシーフードサービスシステムズ リゾートトラスト ワタミフードサービス アースサポート 羊会 田勝会 ケア・リンク 光朝会 神戸福生会 同仁会 のじぎく福祉会 博山社 バナソニック電工エイジフリーサービス 福成会 ベネッセスタイルケア 報恩会 ほおずき 明桜会 メッセージ 両備ヘルシーケア
	ヴィックス オービックビジネスコンサルタント キューブシステム 共栄システムズ さくらケーシーエス 日本ビジネスデータプロセッシングセンター フルノソフテック		アークランドサカモト アイケイコーポレーション 一富士フーズサービス エービーシー・マート NECモバイリング カインズ 関西スーパーマーケット G-7ホールディングス キリン堂 銀ビルストア クリエイトエス・ディー ゲオ 神戸マツダ 光洋 コーナン商事 ゴダイ コメリ 山陽マルナカ ジャクエツ 上新電機 スギ薬局 第一電子 大黒天物産 チュチュアンナ デミック ドン・キホーテ ナガタ薬品 ナック 日本トイザらス ネクスト・ワン ネットヨクウエスト兵庫 ハートフレンズ はるやま商事 ハローズ ビジョンメガネ 兵庫三菱自動車販売 ホンダカーズ兵庫 マックスバリュ西日本 マナバインテリアハーツ マルアイ マルナカ マルハチ 万代 三越伊勢丹ホールディングス メガネトップ ヨドバシカメラ ライフオート ライフコーポレーション レッドバロン レリアン ロック・フィールド		あきんどシロウ 王将フードサービス カッパ・クリエイト 神戸リゾートピアホテル サイゼリヤ スーパーホテル 中納言 西村屋 松屋フーズ モンテローザ ユーシーシーフードサービスシステムズ リゾートトラスト ワタミフードサービス アースサポート 羊会 田勝会 ケア・リンク 光朝会 神戸福生会 同仁会 のじぎく福祉会 博山社 バナソニック電工エイジフリーサービス 福成会 ベネッセスタイルケア 報恩会 ほおずき 明桜会 メッセージ 両備ヘルシーケア
	アートコーポレーション 味の素物流 大森廻漕店 合通 鴻池運輸 コープムービング サカイ引越センター 山陽電気鉄道 JPロジサービス スーパーレックス センコー 辰巳商会 寺本運輸倉庫 トナミ運輸 トライネット・ロジスティクス 南海エクスプレス 西日本旅客鉄道 浜田運送 阪急タクシー 阪神ロジテム バンテック 福山通運 郵便局 リョーサン		アークランドサカモト アイケイコーポレーション 一富士フーズサービス エービーシー・マート NECモバイリング カインズ 関西スーパーマーケット G-7ホールディングス キリン堂 銀ビルストア クリエイトエス・ディー ゲオ 神戸マツダ 光洋 コーナン商事 ゴダイ コメリ 山陽マルナカ ジャクエツ 上新電機 スギ薬局 第一電子 大黒天物産 チュチュアンナ デミック ドン・キホーテ ナガタ薬品 ナック 日本トイザらス ネクスト・ワン ネットヨクウエスト兵庫 ハートフレンズ はるやま商事 ハローズ ビジョンメガネ 兵庫三菱自動車販売 ホンダカーズ兵庫 マックスバリュ西日本 マナバインテリアハーツ マルアイ マルナカ マルハチ 万代 三越伊勢丹ホールディングス メガネトップ ヨドバシカメラ ライフオート ライフコーポレーション レッドバロン レリアン ロック・フィールド		あきんどシロウ 王将フードサービス カッパ・クリエイト 神戸リゾートピアホテル サイゼリヤ スーパーホテル 中納言 西村屋 松屋フーズ モンテローザ ユーシーシーフードサービスシステムズ リゾートトラスト ワタミフードサービス アースサポート 羊会 田勝会 ケア・リンク 光朝会 神戸福生会 同仁会 のじぎく福祉会 博山社 バナソニック電工エイジフリーサービス 福成会 ベネッセスタイルケア 報恩会 ほおずき 明桜会 メッセージ 両備ヘルシーケア
	旭食品 伊丹産業 乾 加藤産業 北恵 九州シジミー グリップインターナショナル		アークランドサカモト アイケイコーポレーション 一富士フーズサービス エービーシー・マート NECモバイリング カインズ 関西スーパーマーケット G-7ホールディングス キリン堂 銀ビルストア クリエイトエス・ディー ゲオ 神戸マツダ 光洋 コーナン商事 ゴダイ コメリ 山陽マルナカ ジャクエツ 上新電機 スギ薬局 第一電子 大黒天物産 チュチュアンナ デミック ドン・キホーテ ナガタ薬品 ナック 日本トイザらス ネクスト・ワン ネットヨクウエスト兵庫 ハートフレンズ はるやま商事 ハローズ ビジョンメガネ 兵庫三菱自動車販売 ホンダカーズ兵庫 マックスバリュ西日本 マナバインテリアハーツ マルアイ マルナカ マルハチ 万代 三越伊勢丹ホールディングス メガネトップ ヨドバシカメラ ライフオート ライフコーポレーション レッドバロン レリアン ロック・フィールド		あきんどシロウ 王将フードサービス カッパ・クリエイト 神戸リゾートピアホテル サイゼリヤ スーパーホテル 中納言 西村屋 松屋フーズ モンテローザ ユーシーシーフードサービスシステムズ リゾートトラスト ワタミフードサービス アースサポート 羊会 田勝会 ケア・リンク 光朝会 神戸福生会 同仁会 のじぎく福祉会 博山社 バナソニック電工エイジフリーサービス 福成会 ベネッセスタイルケア 報恩会 ほおずき 明桜会 メッセージ 両備ヘルシーケア
		金 融	あかし農業協同組合 尼崎信用金庫 淡路信用金庫 淡陽信用組合	飲 食 店 ・ 宿 泊	あきんどシロウ 王将フードサービス カッパ・クリエイト 神戸リゾートピアホテル サイゼリヤ スーパーホテル 中納言 西村屋 松屋フーズ モンテローザ ユーシーシーフードサービスシステムズ リゾートトラスト ワタミフードサービス アースサポート 羊会 田勝会 ケア・リンク 光朝会 神戸福生会 同仁会 のじぎく福祉会 博山社 バナソニック電工エイジフリーサービス 福成会 ベネッセスタイルケア 報恩会 ほおずき 明桜会 メッセージ 両備ヘルシーケア
製 造 業		飲 食 店 ・ 宿 泊		医 療 ・ 福 祉	アースサポート 羊会 田勝会 ケア・リンク 光朝会 神戸福生会 同仁会 のじぎく福祉会 博山社 バナソニック電工エイジフリーサービス 福成会 ベネッセスタイルケア 報恩会 ほおずき 明桜会 メッセージ 両備ヘルシーケア
		サ ー ビ ス ・ そ の 他		公 務 員	アド・ウォーク アンダーツリー 117グループ ウエダ 大阪総合警備 ガイア 加西商工会議所 クラウディアコスチュームサービス 広友ホールディングス スポーツリンク関西 成徳学園(神戸龍谷高校) 全日検 大栄環境 ダイナム トヨタレンタリース神戸 西尾レントオール 日本衛生公社 日本水処理工業 マルハン ワールドインテック 尼崎市消防局 大阪市消防局 大阪府警察本部 神戸市交通局 神戸市消防局 神戸市役所 国家公務員 篠山市役所 兵庫県警察本部

2010年度 進学先

(五十音順)

関西学院大学大学院、神戸情報大学院大学、兵庫県立大学大学院、流通科学大学大学院 等

④教育課程に関する情報

<授業科目及び単位数>

※大学ホームページにて公開(PDFファイルのダウンロード可)

<シラバス(講義概要)>

※大学ホームページにて公開

⑤学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

流通科学大学

学部	学科	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
商学部	流通学科	8年	128	学士(商学)
	経営学科			学士(経営学)
	ファイナンス学科			学士(ファイナンス)
情報学部	経済情報学科			学士(経済情報)
	経営情報学科			学士(経営情報)
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科			学士(観光・生活文化事業)
	医療福祉サービス学科			学士(医療福祉サービス)

流通科学大学大学院

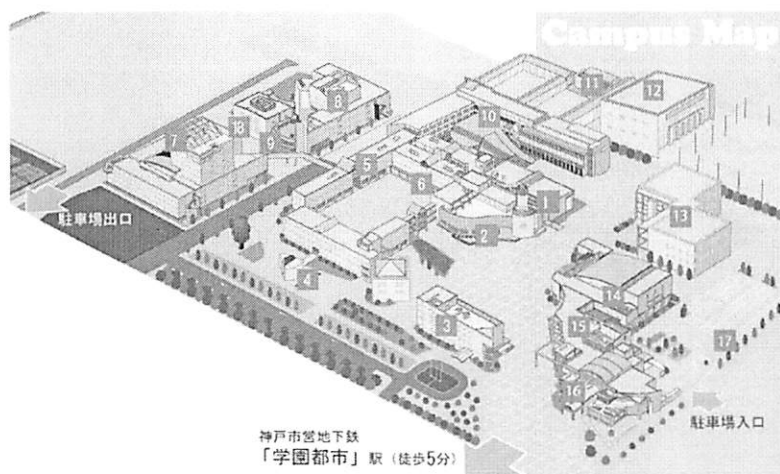
研究科	課程	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
流通科学研究科	修士課程	4年	30	修士(流通科学)
	博士後期課程	6年	12	博士(流通科学)

⑥学習環境に関する情報

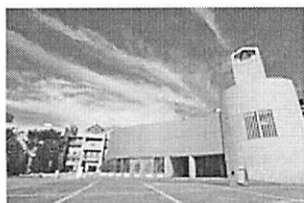
流通科学大学・流通科学大学院

キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
流通科学大学キャンパス	商学部	神戸市西区学園西町3-1	神戸市営地下鉄 西神山手線「学園都市駅」 下車北へ徒歩5分
	情報学部		
	サービス産業学部		
	流通科学研究科		

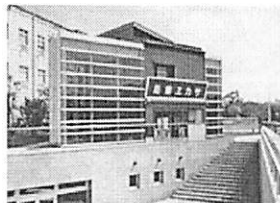
<キャンパスの概要>



- | | | |
|--------------|---------------|-------------------------|
| 1. ベルタワー | 7. 講義棟2、研究棟2 | 13. 講義棟6 |
| 2. 附属図書館 | 8. 講義棟3、研究棟3 | (キャリアセンター、メディアセンター) |
| 3. 本部棟(事務局) | 9. 大学院 | 14. RYUKA HALL |
| 4. 中内功記念館 | 10. 講義棟5、研究棟5 | 15. ローソン流科大実習店 |
| 5. 講義棟1、研究棟1 | 11. クラブハウス | 16. RYUKA DINING(レストラン) |
| 6. 中庭・保健室 | 12. アスレチック棟 | 17. 学生専用駐車場 |
| | | 18. 流通資料館 |



ベルタワー(1)



中内功記念館(4)



中庭・保健室(6)



アスレチック棟(12)



講義棟6(13)

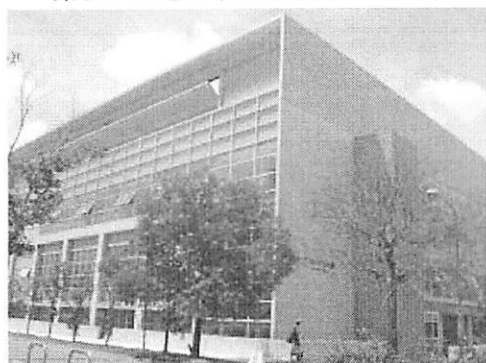


RYUKA DINING(レストラン)(16)

<運動施設の概要>

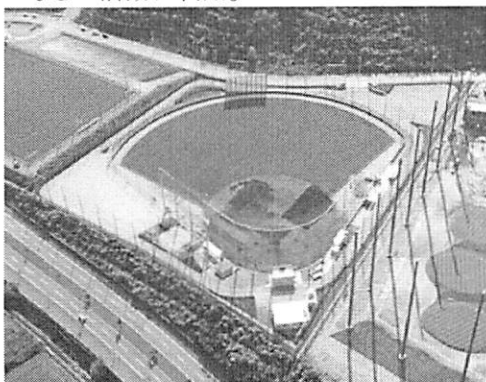
・アスレチック棟

スポーツの振興を通じて課外活動の活性化及び地域交流の推進を目指し、本学20周年記念事業の一環として建設し、2006年4月に竣工。



・流通科学大学野球場

両翼100メートル、中堅122メートル、外野に人工芝を配した野球場で、主に硬式野球部、軟式野球部などの活動に利用。



・グラウンド

北側と西側にグラウンドが2面あり、授業および体育系を中心とした課外活動団体が利用。



<課外活動の状況>

課外活動の目的: 課外活動を通して、自主性・協調性・リーダーシップを学び取り、また生涯続く友人関係のネットワークを築き上げるとともに、体力・技術・メンタルを鍛える。

クラブ・サークル加盟団体: 約30の体育会系クラブと15以上の文化会系クラブ、また体育会系50程度、文化会系20程度のサークルもあり、学園祭実行委員会など独立団体も合わせて在学生全体の58%(2010年度実績)が何らかの団体に参加している。

⑦学生納付金に関する情報

流通科学大学

流通科学大学

項目			納付額				納付時期※1
			商学部	情報学部	サービス産業学部		
					観光・生活 文化事業 学科	医療福祉 サービス 学科	
初年度 のみ	入学金		300,000円		300,000円		一次入学手続時
	受託徴収金	教育後援会入会金	10,000円		10,000円		二次入学手続時
		学生教育研究災害傷害保険料※2	4,040円		4,560円		
	初年度のみ 合計			314,040円		314,560円	
前期	前期授業料		385,000円		385,000円		二次入学手続時
	前期施設設備維持拡充費		50,000円		50,000円		
	前期教育充実費		50,000円		50,000円		
	実験実習費		—		50,000円		
	受託徴収金	教育後援会費	42,000円		42,000円		
	前期納付金／小計		527,000円		577,000円		
入学手続時納付金／合計			841,040円		891,560円		一括の場合
後期	後期授業料		385,000円		385,000円		9月1日 ～ 10月31日
	後期施設設備維持拡充費		50,000円		50,000円		
	後期教育充実費		50,000円		50,000円		
後期納付金／合計			485,000円		485,000円		

1年目の納付金／合計	1,326,040円	1,376,560円
2年目以降の納付金／合計	1,012,000円	1,062,000円

※1 一次手続で入学金、二次手続で前期納付金などを納付する。入試方式によって一括の場合もあるが、その場合は期日までに入学金と前期納付金など入学時納付金すべてを納付する。

※2 2年次編入の場合、学生教育研究災害傷害保険料は3,130円〔医療福祉サービス学科3,520円〕(3年間分)、3年次編入の場合は2,120円〔医療福祉サービス学科2,380円〕(2年間分)となる。

■授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。

■2年目以降の納付金は、前期および後期納付金。なお、実験実習費は、2年次から所属するコースによって不要となる場合がある。

■学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。

■各締切日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして扱う。

■いったん納入された入学金、書類などは、いかなる場合も返還しないこととする。

流通科学大学大学院

項目			納付額		納付時期
			修士課程	博士後期課程	
初年度のみ	入学金		300,000円	300,000円	入学 手続時
	受託徴収金	学生教育研究災害傷害保険料	2,120円	3,130円	
	初年度のみ 合計		302,120円	303,130円	
前期	前期授業料		320,000円	320,000円	
	前期教育充実費		50,000円	50,000円	
	受託徴収金	教育後援会費	30,000円	30,000円	
	前期納付金 合計		400,000円	400,000円	
入学時納付金 合計			702,120円	703,130円	
後期	後期授業料		320,000円	320,000円	9月1日 ～ 10月31日
	後期教育充実費		50,000円	50,000円	
後期納付金 合計			370,000円	370,000円	
2010年度 納付金合計			1,072,120円	1,073,130円	

- 本大学学部卒業後、大学院修士課程に入学する者、及び本大学院修士課程終了後博士後期課程に入学する者は、その入学金を全額免除する。
- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。

⑧学生支援と奨学金に関する情報

< 学生支援組織 >

学生支援	組織名	機能
就職支援	キャリア開発課	・個別・面接トレーニング ・グループワーク、グループディスカッション練習 ・OB・OG就職相談会 ・就職対策宿泊セミナー ・4年生による就職活動相談会 ・就職父母懇談会 ・キャリアリーダー・チューター制度 ・業界研究セミナー ・SPI対策講座 ・女子学生フェミニンセミナー ・サテライトオフィス(東京・大阪)
進学支援	入試課 教務課	・大学院入試制度の紹介等
履修支援	教務課 学習支援センター	・卒業要件、単位修得状況、履修計画など学修・成績などに関する相談受付(随時) ・学修相談会(年10回程度)
生活支援(住居・アルバイト等)	学生課	・不動産会社の紹介(下宿) ・掲示板を通じてのアルバイト紹介
経済支援	学生課 アジア流通研究センター	・日本人学生・留学生・帰国生徒・大学院生対象の各種奨学金紹介
保険・衛生・メンタルヘルス等	保健室	・毎月定期的に学校医による健康相談 ・保健師による健康相談 ・カウンセラーによる悩み相談 ・怪我、体調不良の際の応急手当、病院の紹介等
その他		

<奨学金>

『一般学生対象の奨学金制度』

「成績優秀者奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者以外の成績優秀な学部生に対し支給する。

(資格)

- ・各学年各学部の前年度取得科目の素点平均による成績上位者
- ・2～4年の各学年それぞれ7名(商学部3名、情報学部2名、サービス産業学部2名)

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間

(金額) 30万円(年額)

(2010年度実績) 商学部9名、情報学部6名、サービス産業学部6名

(備考) 2年次以上の日本人の学部生に限る

「下宿サポート奨学金(A方式入試合格者)」

(主旨)

一般入試A方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的として支給する。

(資格)

- ・入学後下宿予定の者でA方式成績上位50名

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 30万円(授業料免除)

(2010年度実績) 11名

(備考) 一般入試A方式の3日間とも対象

「S方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試S方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的として支給する。

(資格)

- ・S方式成績上位30名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 1年次 50万円(年額)

(2010年度実績) 19名 ※1年生実績

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「兄弟姉妹入学奨学金」

(主旨)

本学に兄弟姉妹で同時に学ぶ学生に対し支給する。

(資格)

- ・新入生であること
- ・兄弟姉妹が流通科学大学及び大学院の在学者であること
- ・兄弟姉妹が申請時に在学をしている者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 対象者1名に対し10万円

(2010 年度実績) 26 名

(備考) 兄弟姉妹が休学の者は除く

「日本学生支援機構」

(主旨)

学校教育法に規定する大学に在学する学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済的理由により修学が著しく困難である者。

(選考)

・第一種奨学金

特に優れた学生及び生徒で経済的理由により、著しく修学困難な者に貸与する。

・第二種奨学金

第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって、選考された者に貸与する。

(支給方法) 貸与

(支給期間) 採用になった年の貸与開始から卒業までの最短修業期間

(金額)

・第一種奨学金

自宅通学者 3.0 万円、5.4 万円の中から選択

自宅外通学者 3.0 万円、6.4 万円の中から選択

・第二種奨学金 3 万、5 万、8 万、10 万、12 万の中から選択

(2010 年度実績) 第一種 283 名、第二種 1282 名

(備考) 返還 第一種奨学金＝無利子、第二種奨学金＝上限 3%

「(財)瀧川奨学財団」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)

・兵庫県出身者の者、または家族が県内に住んでいる者。

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間

(金額) 2.5 万円(月額)

(2010 年度実績) 3 名

「その他の奨学金」

神戸市大学奨学金[給付:月額 1 万 5 千円]

三木市教育委員会奨学金[給付:月額 9 千円]

(財)あしなが育英会奨学金[貸与:月額 4 万円]

『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生及び社会人入試、帰国生徒入試で入学した者に対し支給する。

(資格)

- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 5.3万円(月額)

(2010年度実績) 37名

(備考) 規程:各学年10名以内

「中内学園大学院特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、研究心が旺盛で、かつ経済的理由により修学が困難と認められる者に対し支給する。

(資格)

- ・大学院修士課程在学者及び大学院博士後期課程在学者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 修士課程7.1万円(月額) 博士後期課程8万円(月額)

(2010年度実績) 17名

(備考) 規程:修士 各学年8名以内 博士 各学年2名以内

「授業料減免(50%)」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生及び社会人入試、帰国生徒入試で入学した者に対し免除する。

(資格)

- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1年間 ※毎年申請

(金額) 授業料の50%

(2010年度実績) 22名

(備考) 財源:流通科学大学、各種奨学金と重複しない。

「授業料減免(30%)」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 授業料の 30%

(2010 年度実績) 156 名

(備考) 財源:流通科学大学、各種奨学金と重複しない。

「国費」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・4 年次以上で「留学」の資格を持つ外国人留学生
- ・大学院生で「留学」の資格を持つ外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること

(支給方法) 給付

(支給期間) 修業年限の終了まで ※毎年申請

(金額) 学部生 12.6 万円(月額) + 授業料等納付金全額 大学院生 16 万円(月額) + 授業料等納付金全額

(2010 年度実績) 2 名

(備考) 財源:文部科学省

「学習奨励費」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 学部生 4.8 万円(月額) 大学院生 6.5 万円(月額)

(2010 年度実績) 30 名(うち 1 名半期のみ)

(備考) 財源:文部科学省

「兵庫県私費留学生奨学金」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)

- ・兵庫県内の大学に在学する私費外国人留学生。

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 3 万円(月額)

(2010 年度実績) 19 名

(備考) 財源:神戸市

「ロータリー米山奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・国際交流活動を積極的におこなったもの

(支給方法) 給付

(支給期間) 修業年限の終了まで(最長2年) ※毎年申請

(金額) 大学院生 14 万円、学部生 10 万円(月額)

(2010 年度実績) 1 名

(備考) 財源:米山財団

「平和中島財団奨学金」

(主旨)

日本の大学に在籍する私費留学生で、学業・人物ともに優れている者に対し支給する。

(資格)

- ・日本の大学に在籍する学生
- ・「留学」の資格を持つ外国人留学生

(支給方法) 給付

(支給期間) 修業年限の終了まで(最長2年) ※毎年申請

(金額) 大学院生 12 万円、学部生 10 万円(月額)

(2010 年度実績) 0 名

(備考) 財源:平和中島財団

「神戸菅原奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・開発途上国等からの外国人私費留学生
- ・神戸市内の大学、大学院の在学者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 8 万円(月額)

(2010 年度実績) 0 名

(備考) 財源:神戸市

(3)管理運営の概要

【ガバナンス】

- 「理事会」……………学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する
- 「評議員会」……………予算、事業計画、寄付行為の変更等について、理事長があらかじめ諮問
- 「常任理事会」……………理事会の決定した方針に基づき、学園運営全般に係る具体的施策の策定に関する事項、その他学園の運営に関する重要事項を決定する
- 「学長会議」……………本学の学則その他教学に関する重要な規則、本学の重要な施設設備、本学の入試制度・募集定員及び入試日程、本学学生の卒業の要件の基準、本学学生の身分・懲戒及び学生支援、本学の教育課程の編成の基準及び全学の調整に関する学長の諮問、本学の教員の採用及び昇格の全学の調整に関する学長の諮問、本学の教育研究に係る自己点検・評価及び第三者評価に関する学長の諮問、その他本学の運営に関する学長の諮問等について調査審議する。
- 「教授会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学生の卒業、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成に関する学長の諮問、教員の採用及び昇格に関する学長の諮問、その他本学の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。
- 「研究科委員会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学位論文の審査及び課程修了認定、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成、大学院担当教員の選考、その他大学院研究科の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。

2010 年度の開催回数について

理事会	5 回	学長会議	13 回
評議員会	4 回	教授会	42 回(商学部 14 回、情報学部 14 回、サービス産業学部 14 回)
常任理事会	8 回	研究科委員会	6 回

【自己点検・評価】

<自己点検・評価の目標>

自己点検・評価は本学における各種の取り組みの検証・改善を目的とする。

このために自己点検・評価の手法と評価の指標や目標を明確にし、自己点検・評価を Plan-Do-Check-Act のサイクルで検証し、改善に結びつける体制を確立し、さらには第三者による評価に付す仕組みを整えることを目標とする。

<自己点検・評価の経過>

・教育研究等活動報告

各教員の教育研究活動に関しては、1993 年度に「教育研究等活動報告(1992 年度)」が出版され、以降毎年度出版している。これには各教員の、研究活動、教育活動、その他の活動が記録されており、特に発行当初から、「授業で工夫・改善した事柄」を記述している点が特色となっている。

2005 年度の「教育研究等活動報告」(2006 年度発行)からは、各教員が恒常的に自己点検・評価をすることを目指し、「今年度の(研究、教育、その他の活動に関する)目標」の項目が付け加えられた。

・学外者による評価・アドバイス

自己点検・評価と関連し、2004 年度からアドバイザリー・コミッティ委員制度を導入した。

これは、実業界のトップから実業界・社会からの要請を踏まえたご意見とアドバイスを受けて、次の項目の協力を得ようとするものである。

1. 学園の経営に関するアドバイス
2. 企業から期待する教育に関するアドバイス
3. 就職とキャリア教育に関する支援
4. 入試に関するアドバイス
5. 産学連携

<現在の自己点検・評価の体制>

・教育審議会

本学の教育研究活動などの自己点検・評価に関する事項を審議する機関を「教育審議会」という。

教育審議会は、副学長のほか、各学部長、大学事務局長、教学部長などから構成されており、具体的な対策が実行しやすい組織になっている。また、全学的な最高意思決定機関である学長会議でも、本学の教育研究に係る自己点

検・評価および第三者評価に関する学長の諮問事項を審議する。

自己点検・評価の対象は、本学のあらゆる取り組みにわたり、担当者、担当部署、担当委員会などの日常的な取り組み・日常的な自己点検・評価は、それぞれの委員会報告などでなされている。

これらの総括のため、「自己点検・評価を恒常的に行うための制度システム」が必要であり、本学では自己点検・評価の中核機関として「教育審議会」を位置付けている。

・教育審議会規則

※大学ホームページにて公開(PDF ファイルのダウンロード可)

【情報公開】

流通科学大学は学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、公表すべき教育研究活動の状況をホームページ上において公開し、公正かつ透明性の高い運営の実現に努めている。

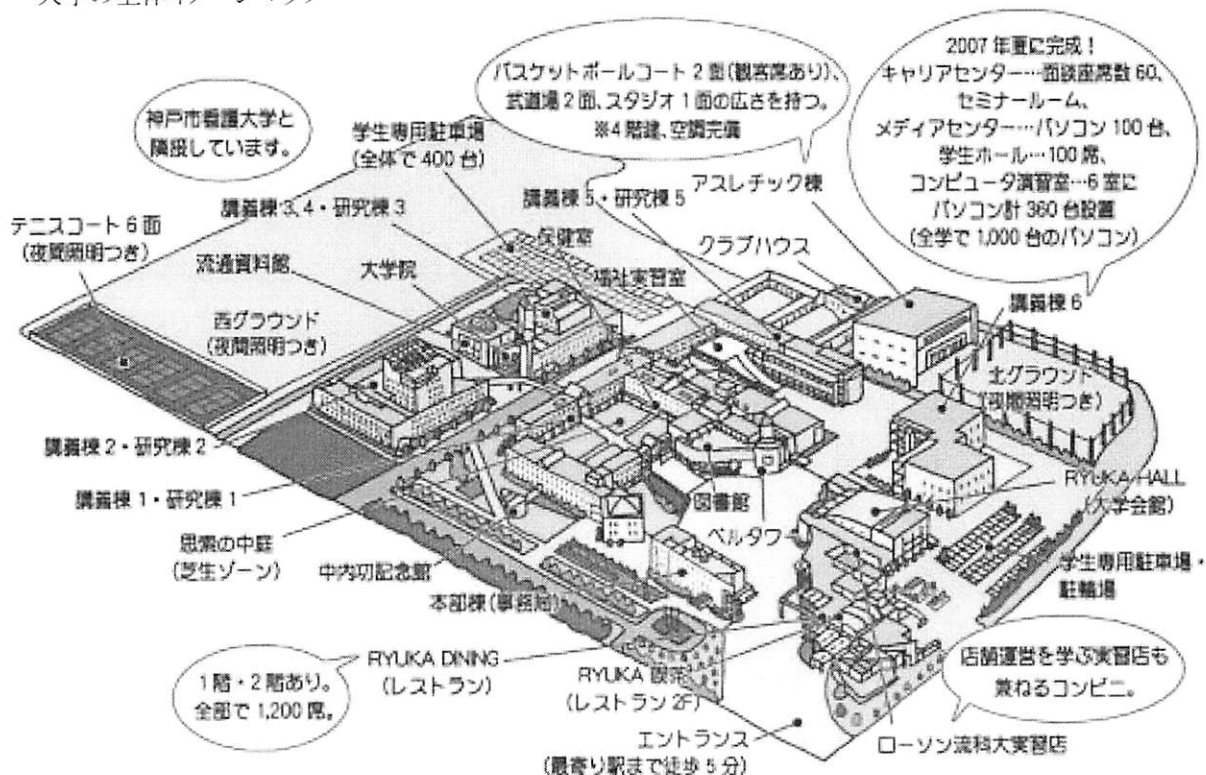
・教育研究活動の状況

※大学ホームページにて公開

【施設設備整備】

<概要>

大学の全体イメージマップ



<大学全体について>

・校地

総面積

流通科学大学キャンパス 164,454.91 平方メートル

・建物

延床総面積 52,783.39 平方メートル

・講義棟

1. 講義棟 1

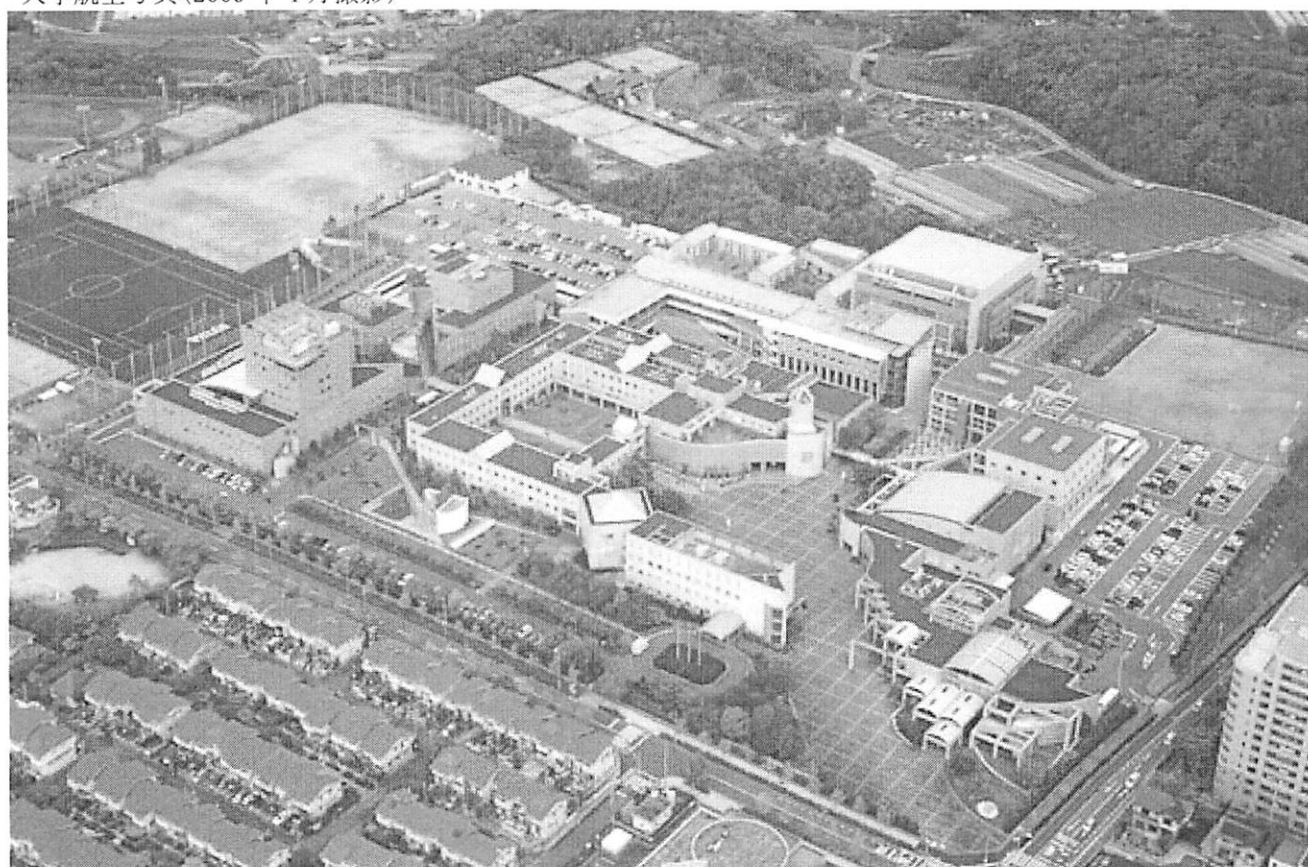
延床面積 4759.86 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

2. 講義棟 2

延床面積 4659.56 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1992 年 3 月完成

3. 講義棟 3
延床面積 2391.68 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1994 年 3 月完成
4. 講義棟 4
延床面積 2205.79 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1994 年 3 月完成
5. 講義棟 5
延床面積 5618.35 平方メートル 4 階建の内の 1～3 階 2001 年 3 月完成
6. 講義棟 6
延床面積 4918.49 平方メートル 3 階建 2007 年 7 月完成
- ・本部棟・研究棟
7. 本部棟
延床面積 2719.57 平方メートル 4 階建 1988 年 1 月完成
8. 研究棟 1
延床面積 2925.74 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成
9. 研究棟 2
延床面積 2687.35 平方メートル 8 階建の内の 4～8 階 1992 年 3 月完成
10. 研究棟 3
延床面積 1196.92 平方メートル 5 階建の内の 4～5 階 1994 年 2 月完成
11. 研究棟 5
延床面積 1680.00 平方メートル 4 階建の内の 4 階 2001 年 3 月完成
- ・大学附属建物
12. 図書館
延床面積 1559.63 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成
蔵書数 186,972 冊、雑誌 2,235 種
13. アスレチック棟
延床面積 6571.22 平方メートル 地下 1 階付き 3 階建 2006 年 4 月完成
14. 中内功記念館
延床面積 453.02 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1997 年 9 月完成
15. RYUKA HALL
延床面積 1892.13 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成
16. RYUKA DINING(レストラン)
延床面積 3207.20 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成(1994 年 3 月増築)
17. 第 1 クラブハウス
延床面積 2216.93 平方メートル 2 階建て 1989 年 10 月完成(2000 年 1 月増築)
18. 第 2 クラブハウス
延床面積 864.00 平方メートル 2 階建て 2008 年 7 月完成
19. 駐車場台数
約 500 台(学生用 400 台、教職員用 100 台)
20. 駐輪場台数
約 350 台
21. グラウンド
西側グラウンド・北側グラウンドの 2 面
22. 流通科学大学野球場
敷地面積 26090.45 平方メートル 2009 年 11 月完成
(更衣室等 171.95 平方メートル)
23. 大阪オフィス
賃貸面積 73 平方メートル
24. 東京オフィス
賃貸面積 260 平方メートル

・大学航空写真(2009 年 4 月撮影)



(4) 上記(「(1)～(3)」)以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

<FD に関する取り組み>

- ・「学生による授業改善アンケート」導入(1994 年度)
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有(2001 年度)
- ・「全学的一斉授業公開(オープンクラスウィーク)制度」導入(2003 年度)
- ・FD 研修会の継続実施

<高等教育研究センター>

- ・FD の推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、講演会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学習相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
- ・協定留学制度
- ・認定留学制度

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は1ヶ月程度。研修実施国はアメリカ、ニュージーランド、中国の3カ国。

<海外市場研究>

- ・本学の学生を対象に海外の流通事情調査を実施。調査期間は1週間。視察対象を凝縮し合理的かつ効率的に学べるプログラム。

<海外の提携校>

- ・台湾…高雄第一科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国…東亜大学校、中央大学校、東明大学校
- ・中国…南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学、蘇州大学応用技術学院
- ・ベトナム…貿易大学
- ・タイ…カセサート大学
- ・オーストラリア…サンシャインコースト大学
- ・ニュージーランド…ワイカト大学パスウェイズカレッジ
- ・アメリカ…ポートランド州立大学
- ・フィンランド…バーサ大学

<アジア流通研究センター>

- ・本学の建学理念に基づく「アジアを中心とした流通研究」と「アジアとの交流」を推進するため、学生交流、学術交流、ビジネス交流を促進する機能を遂行する組織。

③社会貢献・連携活動の概要

<産官学連携 活動実績(2010 年度)>

・神戸研究学園都市大学ゼミ対抗企画 ドンク杯

概要:「夕食にパンを食べよう!」をテーマに、新商品の開発や陳列など店頭での工夫、キャンペーンや広告といった企画を競い合うもので、大学で学んだ知識を社会に還元する機会を持つとともに、学生の研究活動にビジネスの問題解決という動機付けを与えながら、地域で活躍する若者を育成する。

日程:2010 年 9 月～12 月

主催:流通科学大学

協力:株式会社ドンク

参加チーム数:40 チーム(本学、神戸芸術工科大学より約 200 名の学生が参加)

・神戸研究学園都市大学ゼミ対抗企画 加古川市・稲美町活性化提案計画

概要:加古川市と稲美町にまたがる市街化調整区域における人口減、高齢化、産業衰退などの課題に対し、地域資源を生かした地域の活性化策の提案を行う。

日程:2010 年 9 月～2011 年 1 月

主催:流通科学大学

協力:加古川市・稲美町

参加チーム数:16 チーム(本学、神戸国際大学、兵庫大学より約 80 名の学生が参加)

・あいたい兵庫キャンペーン まちあるき企画

概要:兵庫県、県内の全市町、観光関連団体、経済団体などが連携し、全国各地からお客様をお迎えする観光キャンペーン。

日程:2010 年 10 月～12 月

主催:兵庫県

本学の参加チーム:サービス産業学部の井上芳郎ゼミが参加し、「赤穂市坂越(さこし)大道めぐり」まち歩きツアーを実施。

・加藤産業株式会社 新商品提案・開発企画

概要:本学創設者 中内功の愛したすき焼きを再現し、存命中にこよなく愛した流通科学大学学食カレーをアレンジしたレトルトカレー「RYUKA 語録」を流通科学大学生と食品卸の加藤産業、食品メーカーのヤマモリが共同開発。3 月 9 日～11 日まで、神戸国際展示場で開催された総合食品展示会にも出品し、現在、市販に向けて食品メーカーのヤマモリと調整中。

日程:2010 年 9 月～2011 年 3 月

主催:流通科学大学

協力:加藤産業株式会社

参加チーム:サービス産業学部の足立明ゼミ

<地域交流 活動実績一覧(2010 年度)>

・神戸市西区との連携協定に基づいた連携活動

概要:神戸市西区健康福祉部の要請で、介護予防リーダー養成研修を 3 回にわたって実施。本学アスレチック棟を会場に、サービス産業学部の弘原海剛教授が講師を担当し、やさしいストレッチ運動や筋力トレーニングなどを指導。

また、3 月には「介護予防講演会」が本学で開かれ、サービス産業学部の弘原海剛教授の指導のもと、地域の方々 160 名が参加。

日程:2010 年 5 月、7 月、9 月

主催:神戸市西区

場所:本学、地域公民館

・トライやるウィーク受け入れ

概要:6 月 2 校、10 月 1 校の計 3 つの中学校から 12 名の生徒を 1 週間受け入れ、職業体験を経験。

日程:2010 年 6 月、10 月

主催:神戸市

場所:本学

・学園夏祭り

概要: 本学文化会と児童ボランティア部「ALL-IN」、社会イベント隊ランニングボランティア部、学園祭実行委員会が運営を担当。

日程: 2010 年 8 月 7 日、8 日

主催: 学園西町自治会

場所: 学園都市駅前ユニバードーム

・神戸市須磨区との連携協力に関する協定を締結

概要: それぞれの持つ人材や知識、情報などの資源を活用し、相互に協力することにより、地域の活性化や観光の振興などのまちづくりの発展と両者の発展向上を目指す。

今後、マーケティングや観光分野の研究を得意とする本学の学生が須磨区のまちづくり推進に参画していく。

日程: 2011 年 2 月 3 日

主催: 本学、須磨区

三	財務の概要
---	-------

〈概況〉

2010年度の消費収支は、基本金組入増により単年度では約1億6千万円の支出超過となりました。一方で、必要経費の選択と集中に努めた結果、帰属収支では約3億8千万円の収入超過となりました。

自己資本も前年比約3億8千万円増で引き続き強固な財務構造の維持を目指しています。

〈消費収支計算書〉

(単位:百万円)

消費収入の部	2010年度	2009年度	2008年度	2007年度
学納金	4,116	4,166	4,193	4,130
手数料	71	85	87	95
寄付金	56	80	59	182
補助金	250	313	303	337
資産運用収入	143	161	165	130
事業収入	59	62	63	69
雑収入	27	44	54	15
帰属収入合計	4,722	4,911	4,924	4,958
基本金組入額	△538	△1,410	△106	△554
消費収入合計	4,184	3,501	4,818	4,404
消費支出の部	2010年度	2009年度	2008年度	2007年度
人件費	2,323	2,312	2,413	2,393
教育研究経費	1,506	1,513	1,635	1,477
管理経費	512	411	410	440
その他	4	2	5	5
消費支出合計	4,345	4,238	4,463	4,315
単年度収支	△161	△737	355	89
基本金取崩額	-	-	-	-
累計収支	3,225	3,386	4,123	3,768

〈資金収支計算書〉

(単位:百万円)

収入の部	2010 年度	2009 年度	2008 年度	2007 年度
学納金収入	4,116	4,166	4,193	4,130
手数料収入	71	85	87	95
寄付金収入	21	52	21	73
補助金収入	250	313	303	337
資産運用収入	143	161	165	130
事業収入	59	62	63	69
雑収入	27	44	54	15
借入金等収入	6	16	1	1
前受金収入	732	790	843	862
その他の収入	3,815	3,815	3,082	1,865
資金収入調整勘定	△ 805	△ 861	△ 882	△ 874
前年度繰越支払資金	4,450	4,658	6,033	5,407
収入合計	12,885	13,301	13,963	12,110
支出の部	2010 年度	2009 年度	2008 年度	2007 年度
人件費支出	2,331	2,286	2,384	2,340
教育研究経費支出	1,036	1,059	1,184	1,060
管理経費支出	452	353	355	389
借入金等返済支出	8	3	1	2
施設関係支出	90	1,368	96	769
設備関係支出	51	27	93	139
資産運用支出	2,853	2,733	4,126	453
その他の支出	1,170	1,276	1,265	1,115
資金支出調整勘定	△ 260	△ 254	△ 199	△ 190
次年度繰越支払資金	5,154	4,450	4,658	6,033
支出合計	12,885	13,301	13,963	12,110

〈貸借対照表(経年比較)〉

(単位:百万円)

資 産 の 部				
科 目	2010 年度	2009 年度	2008 年度	2007 年度
固 定 資 産	32,514	32,827	31,913	30,121
有形固定資産	22,496	22,853	21,944	22,227
土地	10,726	10,726	9,943	9,943
建物・構築物	10,616	10,979	10,819	11,061
教育研究用機器備品	201	213	260	248
図書	885	873	856	840
その他	68	62	66	135
その他の固定資産	10,018	9,974	9,969	7,894
特定資産	4,797	4,400	4,374	4,345
その他	5,221	5,574	5,595	3,549
流 動 資 産	5,186	4,483	4,766	6,073
現金預金	5,154	4,450	4,658	6,033
その他	32	33	108	40
資産の部 合計	37,700	37,310	36,679	36,194
負 債 の 部				
固 定 負 債	763	768	735	706
退職給与引当金	752	760	734	705
その他	11	8	1	1
流 動 負 債	1,038	1,021	1,095	1,100
前受金	732	790	843	863
その他	306	231	252	237
負債の部 合計	1,801	1,789	1,830	1,806
基 本 金 の 部				
第 1 号基本金	30,360	30,227	28,818	28,712
第 2 号基本金	400	0	0	0
第 3 号基本金	1,556	1,550	1,550	1,550
第 4 号基本金	358	358	358	358
基本金の部 合計	32,674	32,135	30,726	30,620
消費収支差額の部				
次年度繰越消費収支差額	3,225	3,386	4,123	3,768
消費収支差額の部 合計	3,225	3,386	4,123	3,768
負債の部・基本金の部及び 消費収支差額の部合計	37,700	37,310	36,679	36,194

〈主な財務比率(経年比較)〉

比率	(算式)	2010 年度	2009 年度	2008 年度	2007 年度
流動比率	流動資産/流動負債	499.7%	439.2%	435.2%	551.9%
人件費比率	人件費/帰属収入	49.2%	47.1%	49.0%	48.3%
人件費依存率	人件費/学納金	56.4%	55.5%	57.5%	57.9%
教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	31.9%	30.8%	33.2%	29.8%
管理経費比率	管理経費/帰属収入	10.9%	8.4%	8.3%	8.9%
消費支出比率	消費支出/帰属収入	92.0%	86.3%	90.6%	87.0%